



秋の収穫を目指して

6月4日板原町の畑で、「わくわく農業体験」を開催しました。当日は60家族、総勢180人の親子が参加し、梅雨に入って雨が続き、ぬかるんだ畑の区画に、最初は長靴姿で開始しましたが、最後はおとなも子どもも裸足で泥まみれになりながら、みんなで楽しくさつま芋の苗を植えつけました。

秋に予定している収穫祭には1家族に20~30個のさつま芋が収穫できるよう、今後は、親子で草抜きや水やりに取り組みます。



自分たちの手で街をきれいに！

5月30日の「ごみゼロ」の日にちなみ、6月5日に市内一斉清掃「泉大津市ごみゼロ大作戦」を実施しました。当日は、自治会など50団体、約4,000人が参加し、日ごろみんなが使用する道路や公園などを一斉に掃除しました。また、同時に臨海地区では、「港湾美化清掃」も合わせて行われました。

さらに、6月7日には北助松商店街周辺を、地元自治会・周辺の学校・商店主らが参加し、地域コミュニティの構築と美しいまちづくりの一端としてボランティア清掃を実施しました。



まちの話題

Izumiotsu Town Topics



泉大津で起こったさまざまなできごとやイベントを、写真とともにお届けします。



皆さん知ってましたか？

本市にある体操クラブに女子体操競技全日本代表選手が在籍

6月11~12日に開催された「第50回NHK杯兼第43回世界体操競技選手権大会日本代表決定競技会」で、本市昭和町にある「羽衣体操クラブ」所属の、新竹優子選手が個人総合3位に、山岸舞選手は同8位、今西裕万選手は同11位の成績を修め、新竹・山岸両選手は10月に東京で開催される「世界体操競技選手権大会」の代表に決定しました。

3選手は、先日本市と連携協定を結んだ「羽衣国際大学」に在籍しながら、「羽衣体操クラブ」で日々厳しい練習に励んでいます。本市でも3選手を応援していきますので、ぜひ皆さんもいっしょに応援してください。(関連記事13ページ)



弥生時代に想いをはせながら

池上曾根史跡公園内の田んぼで田植え体験

池上曾根弥生学習館の「こだい米クラブ」では、子どもたちが史跡公園内にある田んぼで、一年を通して稻作を学習します。

6月19日には、田植えを体験しました。子どもたちは、学習館で用意された弥生時代の衣服「貫頭衣」に身を包み、ぬかるんだ田んぼに悪戦苦闘しながら、一株一株ていねいに苗を植えていました。



ちびっ子もいっしょに練習中

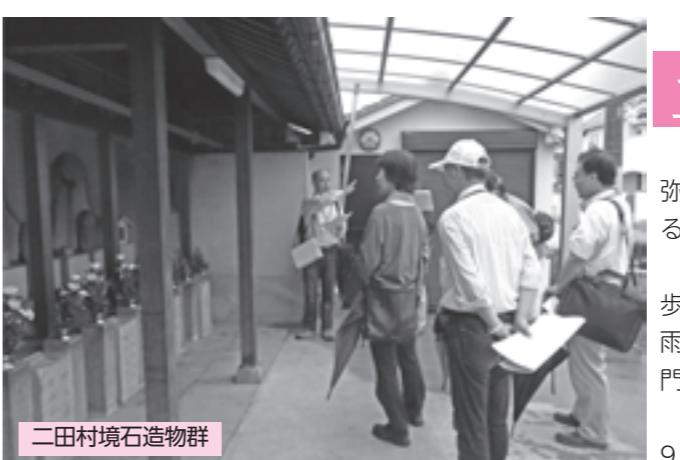
二 歴史散策「弥生以後の池上曾根を歩く」を開催

二 田町から曾根町にかけて散策

弥生時代の遺跡として知られる池上曾根遺跡ですが、弥生時代以降はどのように歴史が展開されたのかを探る歴史散策です。

6月11日の第1回目は「二田物部氏にゆかりの地を歩く」と題し二田町から曾根町にかけて散策しました。雨の降るあいにくの天気でしたが、参加者は熱心に専門職員の解説に聞き入っていました。

なお、第3回目「中世武士ゆかりの地を歩く」が7月9日(土)に開催されます。



二田村境石造物群



歴史的な町並みを巡る

5月22日、歴史的な町並みが残る通称「浜街道」で、「第10回浜街道まつり」が開催されました。当日は、雨が降るあいにくの天候でしたが、訪れた人々は趣のある浜街道の町並みを楽しんでいました。



住みたい・住み続けたい泉大津

きららタウン周辺で、5月22日に泉大津フェスタが開催されました。残念ながら、当日は雨が降る悪天候でしたが、毎年恒例のイベントには多くの市民が訪りました。

雨のため一部の催しものは中止となりましたが、多くの模擬店が並ぶ会場を訪れた人々は、思い思いに店を回っていました。



笑顔の連鎖、みんなにっこり

穴師幼稚園の年長児たちが6月10日に、池浦町のグループホーム「愛のいえ、池浦」(老人ホーム)を訪問しました。

これは、3年前から始まり、今回で3回目。当日は、園児たちが、歌を披露したり、いっしょに手遊びをしたりしました。また、今年の節電対策に、自分たちが絵を描いたオリジナルうちわもプレゼントしました。園児たちも、ホームの人たちも笑顔で過ごせたひとときでした。



赤ちゃんと絵本の初めての出会い

図書館は、保健センターで行われる4か月健診時に、赤ちゃんとその保護者を対象にブックスタート事業とし、絵本の読み聞かせを行っています。

ブックスタート事業は、子育て支援事業の一環で、赤ちゃんと保護者が、絵本を介して心ふれあうひとときをもつきっかけづくりを目的としています。ボランティアが、親子一組ずつにていねいに読み聞かせをするとともに、「赤ちゃんの駅」や子育てに関する情報も提供しています。



子どもたちの思いよ被災地へ届け

6月7日、旭小学校の6年生児童たちが「震災バザー」を行いました。当日開場となった同小体育館には、文房具から靴下などさまざまな商品が並べられました。また、バザーのほかにも、震災被害・地震・津波などについての調べ学習の展示もあり、多くの保護者たちが訪れていました。

なお、バザーの売り上げと募金については、被災地へ送る予定です。



市民に防犯意識の向上を呼びかけ

5月23日、泉大津駅で、泉大津警察署、防犯協議会、防犯委員、市が参加してひったくり撲滅街頭キャンペーンを実施し、25日には市役所玄関前で、泉大津市防犯委員会の女性防犯委員が中心となり、泉大津警察署および市が、ひったくり防止カバーの無料取り付けを行い、訪れた市民に防犯の大切さを呼びかけました。

また28日に市民会館小ホールで開催された泉大津安全大会では、約150人の防犯委員が出席し、府警生活安全指導班による防犯教室が開催され防犯意識の高揚を図りました。



泉州から全国大会を目指し熱い戦い！

奈良県大和郡山市で開催される「全国金魚すくい選手権大会」認定の「泉州予選大会」が、5月22日に本市で初めて開催されました。

会場となったきららセンタービル2階きららホールでは、小中学生部門と一般部門で競われ、予選、準決勝、決勝と熱戦が繰りひろげられました。なお、各部門の上位2人は全国大会へのシード権を得て、8月



21日に大和郡山市で日本一の金魚すくい名人を目指します。

また、表彰式では、入賞者に特産品であるニットで編まれた珍しい表彰状が授与されました。受賞者は、水色とうす緑色をベースに色鮮やかにデザインされて織られたメイドイン泉大津の「ニット製表彰状」を受け取り喜んでいました。